

2021年2月20日

第9回厚生労働省ICFシンポジウム

ICFの改正改訂に関わる最新の動向

杏林大学医学部リハビリテーション医学教室

WHO-FIC CSAC・FDRG

山田 深

演題発表に関連し、開示すべきCOI
関係にある企業などはありません。

社会保障審議会統計分科会 生活機能分類専門委員会 生活機能分類普及推進検討ワーキンググループ



令和元年6月～

- ICF 資料に関する翻訳案の作成
- 年次改正案に対する意見の検討
- 普及教育のための参考資料作成
- ICD-11 第V章の具体的な活用案検討（フィールドテスト等含む）

ICF : International Classification of Functioning, Disability and Health

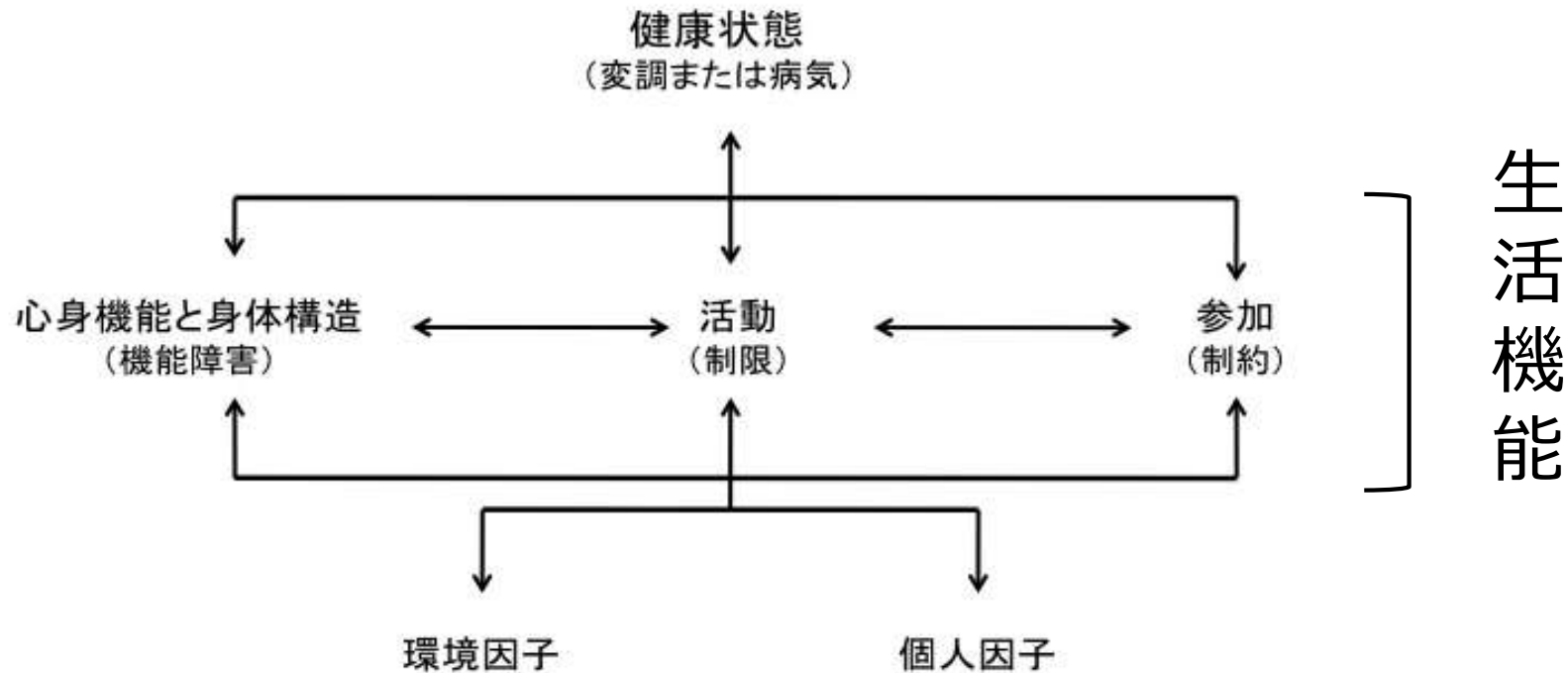
国際生活機能分類



- 2001年5月、WHO総会において採択
- 健康状況と健康関連状況を記述するための、統一的で標準的な言語と概念的枠組みを提供する

概念的枠組み

➤ 生活機能と障害と健康の生物・心理・社会的統合モデル



構成要素は双方向性に作用しあっている

統一的で標準的な言語

➤ ICFの階層構造

➤ ICF評価点

- xxx. 0 問題なし (なし, 存在しない, 無視できる…) 0-4%
- xxx. 1 軽度の問題 (わずかな, 低い…) 5-24%
- xxx. 2 中等度の問題 (中程度の, かなりの…) 25-49%
- xxx. 3 重度の問題 (高度の, 極度の…) 50-95%
- xxx. 4 完全な問題 (全くの…) 96-100%
- xxx. 8 詳細不明 ※情報なし
- xxx. 9 非該当

分類

部門

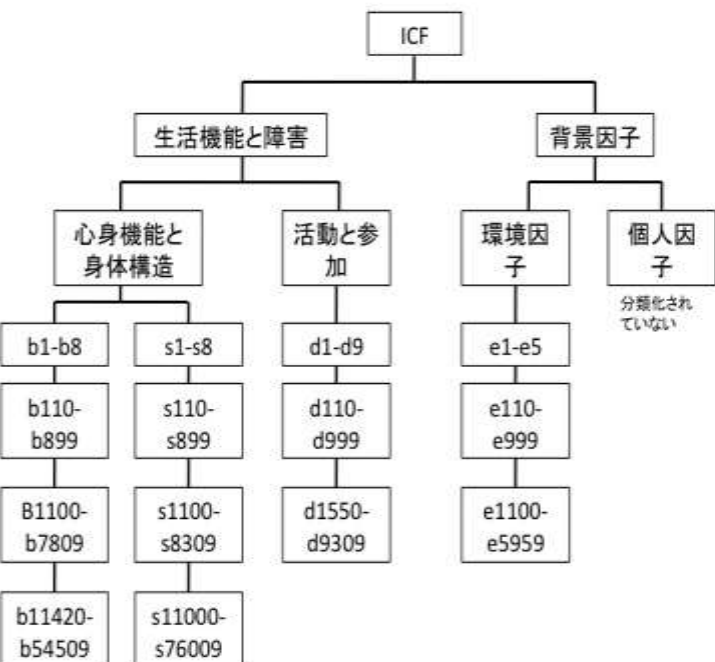
構成要素

第1レベル(章)

第2レベル

第3レベル

第2レベル



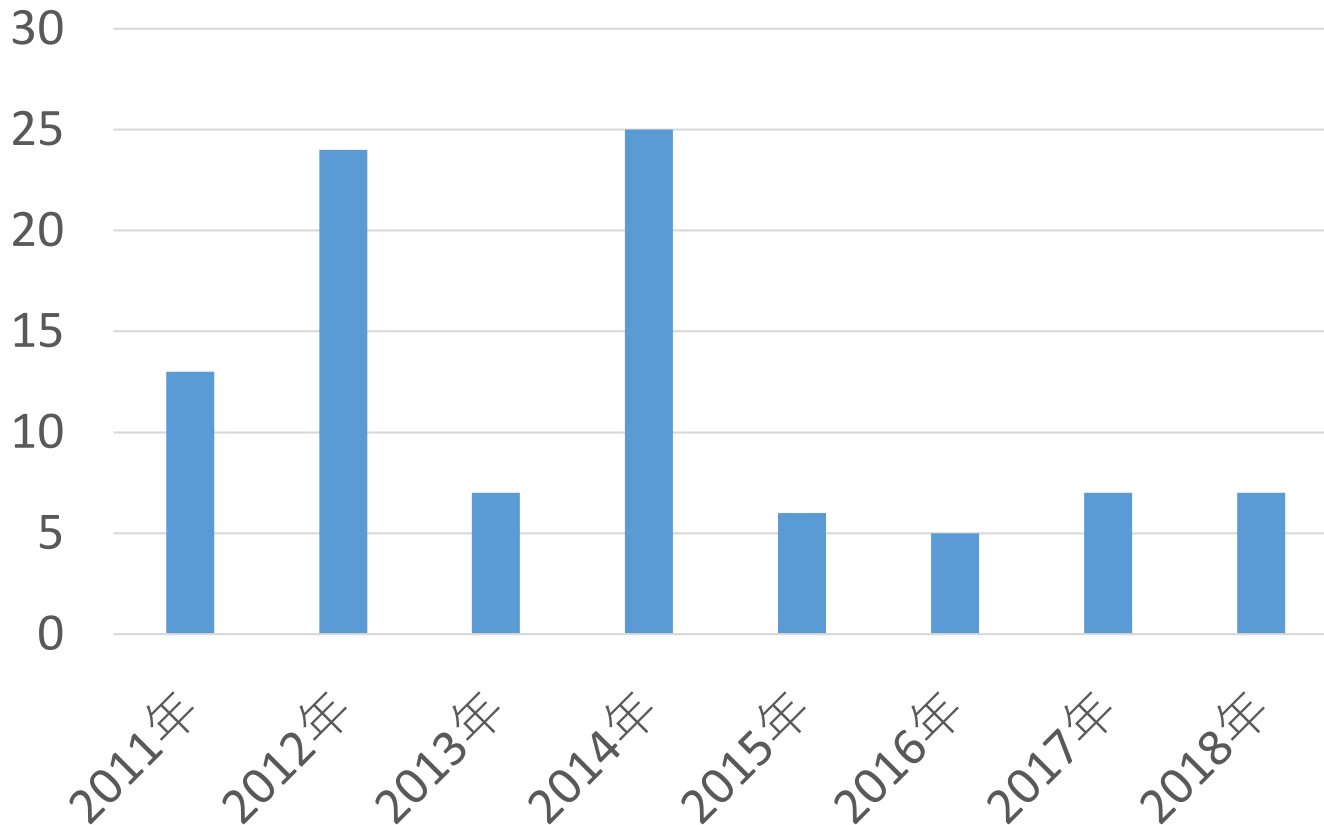
WHO Family of International Classifications : WHO国際統計分類



(出展：WHO ウェブサイトより。国際分類情報管理室で翻訳)

ICFの年次改正

件数



These updates are approved annually at the October meeting of the WHO Family of International Classifications (WHO-FIC) Network.

- [ICF Updates for 2011 pdf, 124kb](#)
- [ICF Updates for 2012 pdf, 141kb](#)
- [ICF Updates for 2013 pdf, 379kb](#)
- [ICF Updates for 2014 pdf, 176kb](#)
- [ICF Updates for 2015 pdf, 484kb](#)
- [ICF Updates for 2016 pdf, 148kb](#)
- [ICF Updates for 2017 pdf, 496kb](#)
- [ICF Updates for 2018 pdf, 400kb](#)

MERGING ICF-CY INTO ICF

ICF-CYをICFに統合する（2012）

- In the interest of a streamlined, comprehensive ICF which adequately addresses all aspects of functioning across the lifespan, the relevant stakeholders have agreed to merge the two classifications back into one while completing other updates and revisions.
- 生涯にわたる生活機能のすべての側面に対して適切に対応するICFを、一連の流れに沿って包括的なものとするために、2つの分類を1つにまとめ、他の更新と改訂を完了することに合意（仮訳）。

<https://www.who.int/classifications/icf/whoficresolution2012icfcy.pdf?ua=1>

I C F 改正の流れ

※第1回 社会保障審議会統計分科会資料
をもとにアップデート

0

- 提案
- プラットフォームの一般ユーザー

1

- 最初のレビューグループ層
- Initial Review Groupのメンバーによるレビュー

2

- 生活機能分類グループ層
- FDRGメンバーによるレビュー

3

- 公開討論層
- プラットフォームの全てのユーザーによるレビュー

4

- 非公開討論層
- CSAC（投票メンバー）からのコメント

5

- 議論
- WHO-FIC年次会議

分類・統計諮問委員会

CSAC: Classification and
Statistics Advisory
Committee

生活機能分類グループ

FDRG : Functioning and
Disability Reference
Group

公式アップデートの例

d450 歩行

d451 階段の上り下り

昇降階段や縁石など、片方の足が常に地面に着くように上下に移動すること。

除かれるもの：歩行(d450); 登り降りすること(d4551)

d455 移動

アップデート 近年の流れ

- ICF-CY

ICF-CYを統合するための調整

- 動名詞

play→playing

- Impairmentの削除

含まれるもの、除かれるものに疾患名を例示しない
(ICFは生活機能の評価である)

ICF-CYとの統合と動名詞

d560 Drinking

[追加]

d5601 Suckling from breast

Suckling milk from the breast.

.....

d9200 Playing

Engaging in games with rules or unstructured or unorganized games and spontaneous recreation, such as playing chess or cards or children's play.

Inclusions: engaging in solitary play, onlooker play, parallel play and shared cooperative play

Impairmentの削除

b410 心機能 (仮訳)

適切なあるいは必要とする血液量と血圧で、全身に血液を供給する

注: これらの心身機能の障害は心不全、心筋症、心筋炎、冠不全などの健康状態にある時や、頻脈、徐脈、不整脈がみられる状態にある場合にみられる。

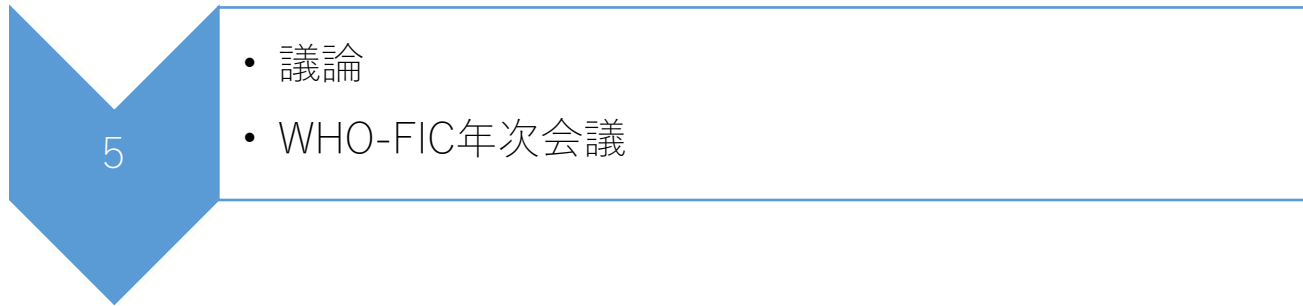
含まれるもの: 心拍数、心調律 (リズム)、心室筋の収縮力、心臓への循環状態。

~~頻脈、徐脈、不整脈、心臓弁の機能、肺循環へ血液を供給する機能、心臓への循環動態。~~

除かれるもの: 血管の機能 (**b415**); 血圧の機能 (**b420**); 運動耐容能 (**b455**)

2019 – 2020年アップデート

- ICF-CY関連 26件
- その他 36件



- 3提案が採択、2提案が持ち越し

Release of ICF 2020: October 2020

ICF 2020 closes the 13 years of life of ICF-CY and opens a new era with ICF being on the WHO Platform for Classifications together with ICD-11 and ICHI



WHO-FICにおける中心分類として

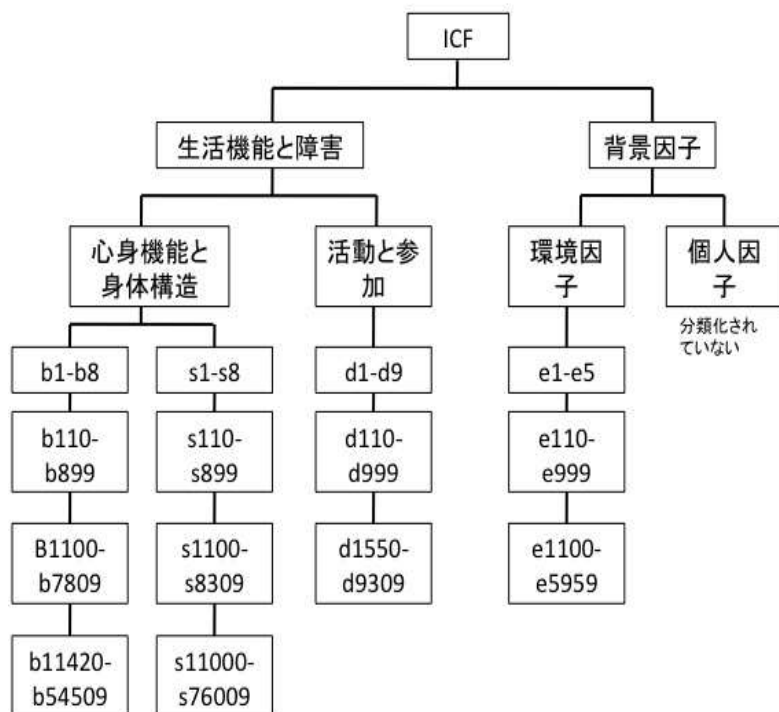


世界保健機関憲章 第64条

- 各加盟国は、保健総会が決定した方法によって、統計的及び疫学的報告を提出しなければならない。
- 我が国ではICD-10（2013年版）に準拠した「疾病、傷害及び死因の統計分類」が作成され、統計法に基づく統計調査に使用されるほか、医学的分類として医療機関における診療録の管理等に活用。
- ICFは？

統一的で標準的な言語

➤ ICFの階層構造



➤ ICF評価点

- | 分類 | 評価点 | 説明 | 割合 |
|----------|--------|----------------------------|---------|
| 分類 | xxx. 0 | 問題なし (なし, 存在しない, 無視できる...) | 0-4% |
| 部門 | xxx. 1 | 軽度の問題 (わずかな, 低い...) | 5-24% |
| 構成要素 | xxx. 2 | 中等度の問題 (中程度の, かなりの...) | 25-49% |
| 第1レベル(章) | xxx. 3 | 重度の問題 (高度の, 極度の...) | 50-95% |
| 第2レベル | xxx. 4 | 完全な問題 (全くの...) | 96-100% |
| 第3レベル | xxx. 8 | 詳細不明 ※情報なし | |
| 第2レベル | xxx. 9 | 非該当 | |



M É X I C O

HOW IS ICF USED AROUND THE WORLD?

16-21 October 2017
Mexico City, Mexico

Poster Number

WHO/CTS to insert

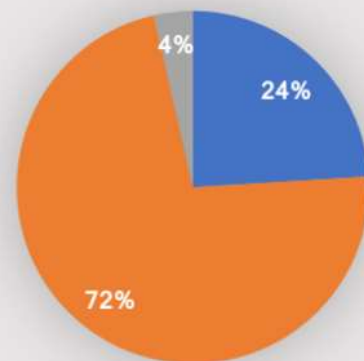
Authors: Matilde Leonardi¹, Hae-Jung Lee², Olaf Kraus de Camargo³

¹Istituto Besta, Italy ²Silla University, Korea ³McMaster University, CanChild Centre for Childhood Disability Research (corresponding author on behalf of FDRG)

Abstract We report the results of a global survey among users of the ICF. 40 questions were provided and we obtained 437 responses from 32 different countries. It seems that the use of qualifiers is difficult for many users (only 81 responses indicated making use of qualifiers). The need for additional development of tools and guiding principles is discussed.

Chart 3: Use of ICF qualifiers (N = 337)

Do you use ICF Qualifiers in your project or experience? Please choose only one of the following:



■ Yes ■ No ■ Other (please specify)

生活機能分類グループ(Functioning and Disability Reference Group: FDRG)によるサーベイ

⇒72%のユーザーはICF評価点を使用した経験がない

ICF core sets (2015年日本語版出版)

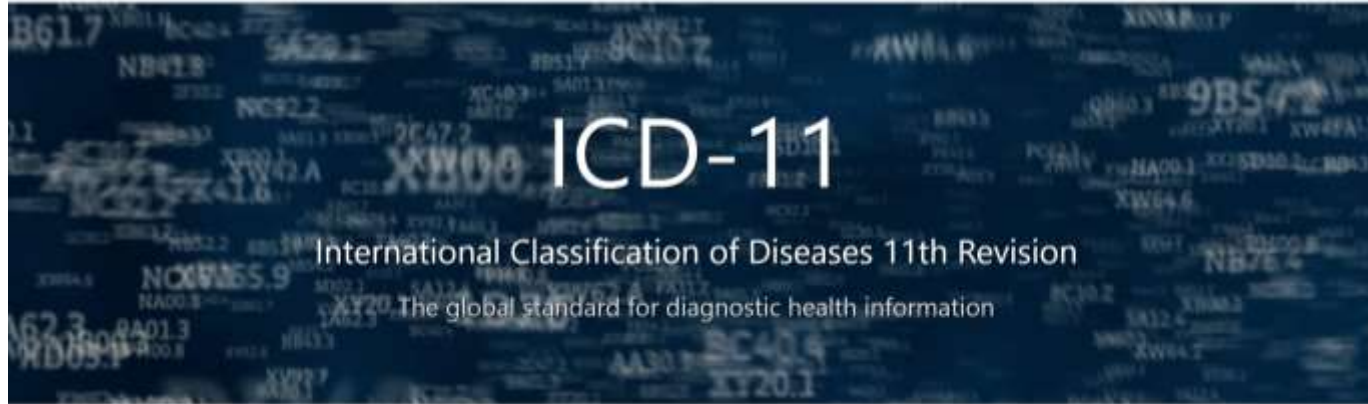
- 特定の健康状態、健康状態群の評価に適したICFカテゴリーの組み合わせ
- 日本リハビリテーション医学会が日本語訳を出版

心身機能		活動と参加	
b110	意識機能	d360	コミュニケーション用具および技法の利用
b140	注意機能	d410	基本的な姿勢の変換
b167	言語に関する精神機能	d415	姿勢の保持
b215	目に付属する構造の機能	d420	乗り移り(移乗)
b235	前庭機能	d465	用具を用いての移動
b240	聴覚と前庭の機能に関連した感覚	d510	自分の身体を洗うこと
b270	音頭やその他の刺激に関連した感覚機能	d520	身体各部の手入れ
b415	血管の機能	d530	排泄
b430	血液系の機能	d540	更衣
b440	呼吸機能	d550	食べること
b525	排便機能	d560	飲むこと
b535	消化器系に関連した感覚	d760	家族関係
b710	関節の可動域の機能	環境因子	
身体構造		e120	個人的な屋内外の移動と交通のための製品と用具
s110	脳の構造	e315	親族
s120	脊髄と関連部位の構造	e465	社会的規範・慣行・イデオロギー
s710	頭頸部の構造	e550	司法サービス・制度・政策
		e570	社会保障サービス・制度・政策
b130	活力と欲動の機能	d230	日課の遂行
b152	情動機能	d450	歩行
b280	痛みの感覚	d455	移動
		d850	報酬を伴う仕事



急性期ケアにおける神経系健康状態のためのICFコアセット (短縮版)

ICD-11



- 2019年5月 世界保健総会で承認
- 2022年 発効予定

第V章 生活機能評価に関する補助セクション

- 健康状態と関係する生活機能レベルを記述
- 定量化に適した生活機能のプロファイル、個々人の相対的スコアを作成可能

Search

[Advanced Search]

[Browse](#)[Coding Tool](#)[Special Views](#)[Info](#)

- ▶ 21 Symptoms, signs or clinical findings, not elsewhere classified
- ▶ 22 Injury, poisoning or certain other consequences of external causes
- ▶ 23 External causes of morbidity or mortality
- ▶ 24 Factors influencing health status or contact with health services
- ▶ 25 Codes for special purposes
- ▶ 26 Supplementary Chapter Traditional Medicine Conditions - Module I
- ▼ V Supplementary section for functioning assessment
 - ▶ WHODAS 2.0 36-item version
 - ▶ Brief Model Disability Survey
 - ▶ Generic functioning domains
- ▶ X Extension Codes

V Supplementary section for functioning assessment

ICFを元に関発された評価法

- ①WHO障害評価面接基準 (WHODAS 2.0)
 - ②簡易版モデル障害調査 (Model Disability Survey: MDS)
- で構成され、
- ③ICF 付録9 “理想のおよび最低限の健康情報システムまたは調査のために提案されたICFデータの要件”から引用された生活機能のカテゴリーで補完される

[Release Notes](#)

ICFの改正改訂へ向けた動き

1) ICF 2020

アップデートの提案を統合、優先付
オンライン投票システムの整備を加速

2) 児童用WHODAS

文献レビュー、定義作成
試用版の開発

3) WHODAS

トレーニング教材の開発
採点ツールの開発



2020

World Health Organization –
Family of International
Classifications (WHO-FIC) Network
Annual Meeting Seoul, South
Korea 22-27 October 2018
Executive Summaryより抜粋、仮訳

ICFの普及に向けた展望



①リハビリテーション2030：行動への呼びかけ

リハビリテーションを強化するための重要な行動は、ICF を活用して、
～中略～リハビリテーションに関連する情報を収集することである。
(なぜWHOはICFを重視するのか - アラルコス・シエザ (WHO))

http://www.who-fic-japan.jp/img/events_attended/katudou_pdf/

②What WHO-FIC CC and FDRG will do next (FDRG 2020)

ICF USE CASES：次の一歩は使用事例を通して

- ・ 標準的な生活機能の情報収集に関するICF使用の法的要求
- ・ ICFの現代化（インデックスの開発、プラットフォームの共通化）
- ・ WHOアカデミーコースへの情報提供